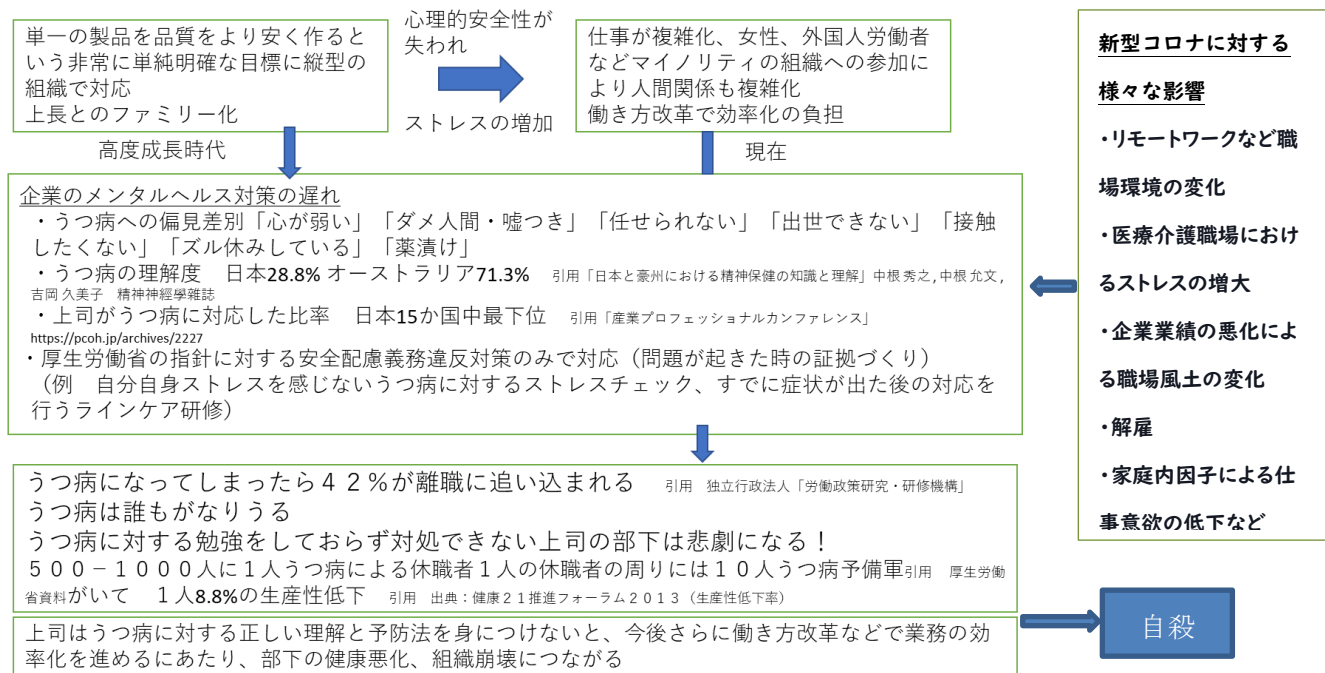


# うつ病にさせないためのコンソーシアム 関連資料

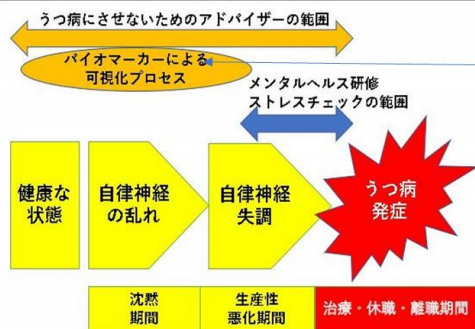
## 1. 状況と課題



## 2. うつ病にさせないためのアドバイザー養成会概要

### ●うつ病にさせないためのアドバイザー養成会内容

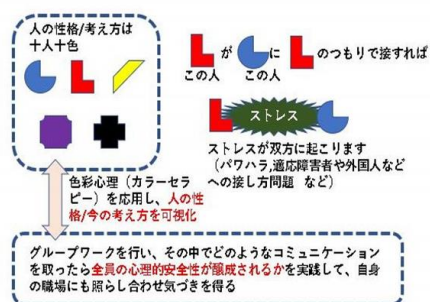
各職場のリーダーが養成会で他の職場の人とグループワークで以下の内容を学び職場に戻って実践する



①心拍変動を用いたストレス（バイオマーカー）の見える化により早い段階（ゼロ次）での対処を行う方法を学ぶ

うつ病は、心の病気ではなく神経伝達物質の問題で起こるため、ストレスの測定ができることを学ぶ。以前は1台百万円の装置が現在は無料で利用できる脳疾患による死亡率が高かった長野県が住民が血圧計を持ち自身が測定することによって見える化され自身を振り返ることで脳疾患が激減した論理と同じ効果を求める。健康な状態から対応可能をおこなう。

### 色彩心理を用いた心理的安全性醸成プログラムの概要



②色彩心理カード（オリジナル）を用い人の性格気持ちの見える化を行い職場全員の心理的安全性を高めることを学ぶ

グーグルのアリストテレスプロジェクトでも心理的安全性を高めると生産性が上がると裏付けられている。ただし、組織になじめないマイノリティ（外国人、適応障害者、再雇用者、女性など）を排除して行うことは正しくない。

職場で本格的に実行する場合には日本特殊陶業開発の色彩心理システムを検討

※西川耕平 甲南大学 共通教育センター 教授

- ・OD Association in Japan (ODA) 共同代表理事 ・1956年生まれ。専門分野は組織開発。
- ・2010年2月 日本初の組織開発(OD)コミュニティー「OD Network Japan」を設立し、世界組織である International OD Association 理事としても活躍する
- ・海外で開発された組織開発の理論・実践応用成果を、日本の各種組織に実践応用するために、企業人事担当、コンサルタント、大学 研究者が定期的に交流する学習の場を運営している。

